

令和 4 年 2 月 10 日時点

(1) 事務事業の概要		
① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 22 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	市内農水産物にブランド価値を備えるため、地域のイメージ・美味しさ・物語性などを取り入れ、商品開発・販路拡大・PR活動を行うなど独創的な手法により「旭の新たな顔」の創出に取り組む農水産業者団体等へ支援を行う。 補助対象者：市内の農水産業者団体(3戸以上)、市内の農水産業を営む法人等 補助率：補助対象経費の1/2以内で限度額50万円 補助年限：3年間	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
本市は多様な産品はあるものの、ブランド力や知名度の低さが弱みとなっている。 新たな商品価値を持った産品の創出により、「旭ブランド」の確立を目指すため、平成22年度から事業を開始した。	・生産主体に占める燃料や資材の費用が高騰している ・震災等の影響により、食の安全・安心に対する関心が高くなってきた。	補助事業を活用した商品やパッケージ等がお客様から好感触を得ているとの声が事業実施主体から寄せられている。

① 事業費の詳細(2年度の決算)		単位:千円
1.負担金補助及び交付金	500	こだわり旭ブランド創出支援事業補助金交付
② 特定財源の内訳(2年度の決算)		単位:千円
1.国庫支出金		
2.都道府県支出金		
3.地方債		
4.その他	500	地域振興基金繰入金500

前年度 増減理由	事業費の増に伴い、補助額が増加したため
-------------	---------------------

① 主な活動		③ 活動指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
手段	2年度実績(2年度に行った主な活動)	ア	事業実施PR回数(市広報、JAちばみどり広報への掲載等)	回	2	1	1	2
	補助金の交付 ・レトルトカレーの商品作成	イ	補助金申請件数	件	1	1	1	2

② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名	単位	29年度 (実績)	30年度 (実績)	1年度 (実績)	2年度 (実績)	3年度 (計画)
目的	対象 市内農産物	ア	本事業で活用された農水産物品目数	品目	1	1	1	2
	意図 ブランド化により、PRができる。							
	対象 意図	イ						

①成果優先度評価結果		成果向上余地		
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない
施策貢献度	大きい			
	普通		⑤	
	小さい			

②コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
成果優先度 評価結果	①			
	②			
	③			
	④⑤	(4)		
	⑥			
	⑦⑧			
	⑨			

年度	ア
H29	1
H30	1
R1	1
R2	1
R3計画	2

評価内容	① 進捗状況 ☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難														
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標 のタイプ	↗	数値増＝成果向上	☐ 向上	☒ 横ばい	☐ 低下	成果 比較 動向	28年度	29年度	30年度	1年度	2年度
			成果指標イ				☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下		29年度	30年度	1年度	2年度	3計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)					ア	イ								
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他()					
		年度内	例年通り実施			年度内	例年通り実施								